

妙法山 観世音寺 弘誓院 くぜいいん

※ 横浜市南区睦町 2-221. TEL731-2825.  
 ※ 市バス・68・81・110・113系統「中村橋」下車5分。

高野山真言宗、1536年(天文5年)石川藩刀俣家重の開基、伯父の順清法印を京都より迎え開山したと伝えられる。

1703年(元禄16年)南関東大震災で堂宇倒壊再建、1923年(大正12年)関東大震災で本堂庫裡倒壊再建、1945年(昭和20年)戦災焼失、1974年(昭和49年)本堂完成し、今日に至る。

本尊 聖観世音菩薩。  
 建物 本堂・客殿・庫裡・釈迦堂。  
 七福神 福祿寿。



青龍山 寶生寺 ほうしょうじ

※ 横浜市南区堀ノ内町 1-68. TEL731-2548.  
 ※ 市バス・68・81・110・113系統「天神橋」下車7分。

高野山真言宗、青龍山寶金剛院と号する。承安年中(1171-1175年)覚清法印によって草創された。平安時代から室町時代まで横浜南部一帯を支配していた豪族平子氏と代々関係が深く、応永年間に覚尊法印が住した頃には、末寺51ヶ寺を支配する本寺となった。以来、太田道灌、北条氏康、豊臣秀吉、徳川幕府等の外護を受け、伊豆、相模、武蔵三国古義真言宗法談所の一つとして栄えた。横浜の歴史を知るうえで重要な多くの古文書を所蔵している。

本尊 金剛界大日如来。  
 建物 本堂・庫裡・鐘楼堂・大門・  
 収蔵庫。  
 七福神 寿老人。



医王山 金剛院 いおうざん

※ 横浜市磯子区岡村 5-3-1. TEL751-6296.  
 ※ 市バス・9・60・78系統「仲久保」下車3分。

高野山真言宗、1696年(元禄9年)に入寂した長峯上人が開山したともいわれているが、古文書によると上人が、寺運を興隆し中興と記され、それより以前に開山したものと思われる。1918年(大正7年)隣接の火災で類焼。仮本堂から、1975年(昭和50年)本堂大改修完成し、1989年(平成元年)薬師三尊立像を新たに安置。「薬薬師」と命名し、現在の寺容を整えた。

本尊 薬師如来。  
 建物 本堂・護摩堂・地藏堂・客殿・  
 庫裡・休憩所。  
 七福神 大黒天。

年中行事 新年護摩祈禱修行・春秋彼岸お中日寄席・大黒天大祭(11月3日)・大晦日おたきあげ。



岡村天満宮 おかむらてんまんぐう

※ 横浜市磯子区岡村 2-13-11. TEL751-2008.  
 ※ 市バス・9・78系統「天神前」下車5分。

創立年代は不詳ですが、古老の言い伝えによると鎌倉時代1190年(建久年間5年間)源頼朝の家臣が鎌倉から移り住み、鎌倉の荏柄天神を信仰していたので、京都の北野天満宮の御分霊をいただき天宮(菅原道真公)を創建したといわれている。1910年(明治43年)岡村町(6丁目)に鎮座していた天照皇大神、杉山神社(市村島姫ノ命・3丁目)の二社を合併して杉山天満宮とした。1930年(昭和5年)に岡村天満宮と改称し、1975年(昭和50年)現在の社殿が造営された。

祭神 菅原道真公・天照皇大神・市村島姫ノ命・白笹稻荷神(境内社)。  
 建物 本殿・社務所・稻荷社・神楽殿・神興奉安所。  
 初詣 菅原道真公(学問・書道の神)・市村島姫ノ命(弁財天・財運芸術を司る神)・1月元旦祭・1月25日初天神・2月8日針祭・8月24,25日例大祭・10月下旬日曜日筆祭。



# 磯子七福神めぐり

磯子七福神は、大正7年(1918年)に磯子区・南区の七つの寺社に祀られ、当時、近郊の参拝者が巡拝して賑わっていました。

当初は、岡村天満宮、稲荷社(埋地・磯子浜)も講中内でしたが、何時の日か、現在の高野山真言宗の七つの寺院に祀られるようになりました。

戦乱、戦後で一時途絶えておりましたが、昭和53年(1978年)磯子区制施行50周年記念を契機に、磯子区青少年指導員協議会が各寺院・神社と磯子区体育指導員協議会の協力を得て、歴史・文化の研究保存、ふる里意識高揚と体力・健康保持のために約9Kmの歩行順路を作りました。

磯子七福神めぐりは、初詣として岡村天満宮と国指定三段台遺跡を含め、九ヶ所を一巡りするコースを設定し、毎年正月の第一または第二の日曜日(雨天中止)に磯子区役所前・根岸坂下公園・磯子小学校・岡村中学校の4ヶ所から午前9時に半日行程で巡ります。

注意・七福神巡りの弘誓院から宝生寺への山道は危険のため通行禁止となっていますので一般道を通行願います。

七福神の寺院の開扉は、1月15日迄です。法要のある日は、閉じている場合がありますのでご容赦願います。

## 巡拝コース・徒歩9km。(大型バス乗り入れ不可)

- 1 磯子区役所・金蔵院(弁財天)－真照寺(毘沙門天)－密蔵院(布袋)－宝積寺(恵比寿)－弘誓院(福祿寿)－寶生寺(寿老人)－岡村天神－金剛院(大黒天)解散。
- 2 磯子小学校・真照寺－密蔵院－宝積寺－弘誓院－寶生寺－岡村天神－金剛院－金蔵院・解散。
- 3 坂下公園・密蔵院－真照寺－金蔵院－金剛院－岡村天神－寶生寺－弘誓院－宝積寺・解散。
- 4 岡村中学校・金蔵院－真照寺－密蔵院－宝積寺－弘誓院－寶生寺－岡村天神－金剛院・解散。

七福神中の神々には、インドの守護神である毘沙門天、弁財天に、中国の真僧である布袋、寿老人、福祿寿、並びに日本古来の神である恵比寿とインドの大黒天と大国主命と合体した大黒様です。私達の先祖の人々が、現世に求める欲求を満たす七つの福徳を授けてくれる神々を選び、お参りする風習がありました。巡拝は、平安時代の末期頃より始まり、江戸時代全盛期には、お正月行事として欠かさずの出来ない行事となり、明治、大正、昭和の初期まで続き、近年、復活し始めました。

周辺には、横浜港北七福神・三浦七福神・葦子葉山七福神・東京隅田川七福神・遠くは、三河七福神・長野伊那七福神・淡路島七福神等がある。

**弁財天**は、インドの神で万物を破壊する洪水の力を神格化したもの。琵琶楽器を持っているので、音楽、学問、芸能、商売の福徳施与を願う神様。また、弁才天ともかく。

**毘沙門天**は、須弥山の四方を守る四天王の一人。インドの守護神で、武人の神で宝塔、宝棒は財産、富貴繁栄と勇気を授けてくれる神様。また俱利伽藍と古い施福の神ともいわれている。

**布袋**は、中国の名僧布袋和尚で、弥勒菩薩の化身といわれ、顔は広く、身は太く短く、よくよかな腹を持つ円満な相から、夫婦円満、功徳を施す神様。



**恵比寿**は、日本古来の神様で事代主命とか、海原に放たれた蛭子神の化身ともいわれ、海の幸を司る神といわれると共に、エビス・夷は、北海道のエゾと同名で、国土の原住の神ともいわれ、家内安全・家運隆昌・商売繁盛の神様。恵比須ともかく。

**福祿寿**は、中国の北宋の道士という説と、南極星の化身という説がある。人間が求めている「福と禄と寿」。福は幸福・家内安全、禄は俸禄・収入、地位、寿は長が生きを望む三つの願いを叶えてくれる神様。

**寿老人**は、中国の老子が天に昇り仙人になり1500歳の長寿を保ったという説と南極星の化身といわれる説がある。人が永遠に長生きしたいという願いから出現した神様。

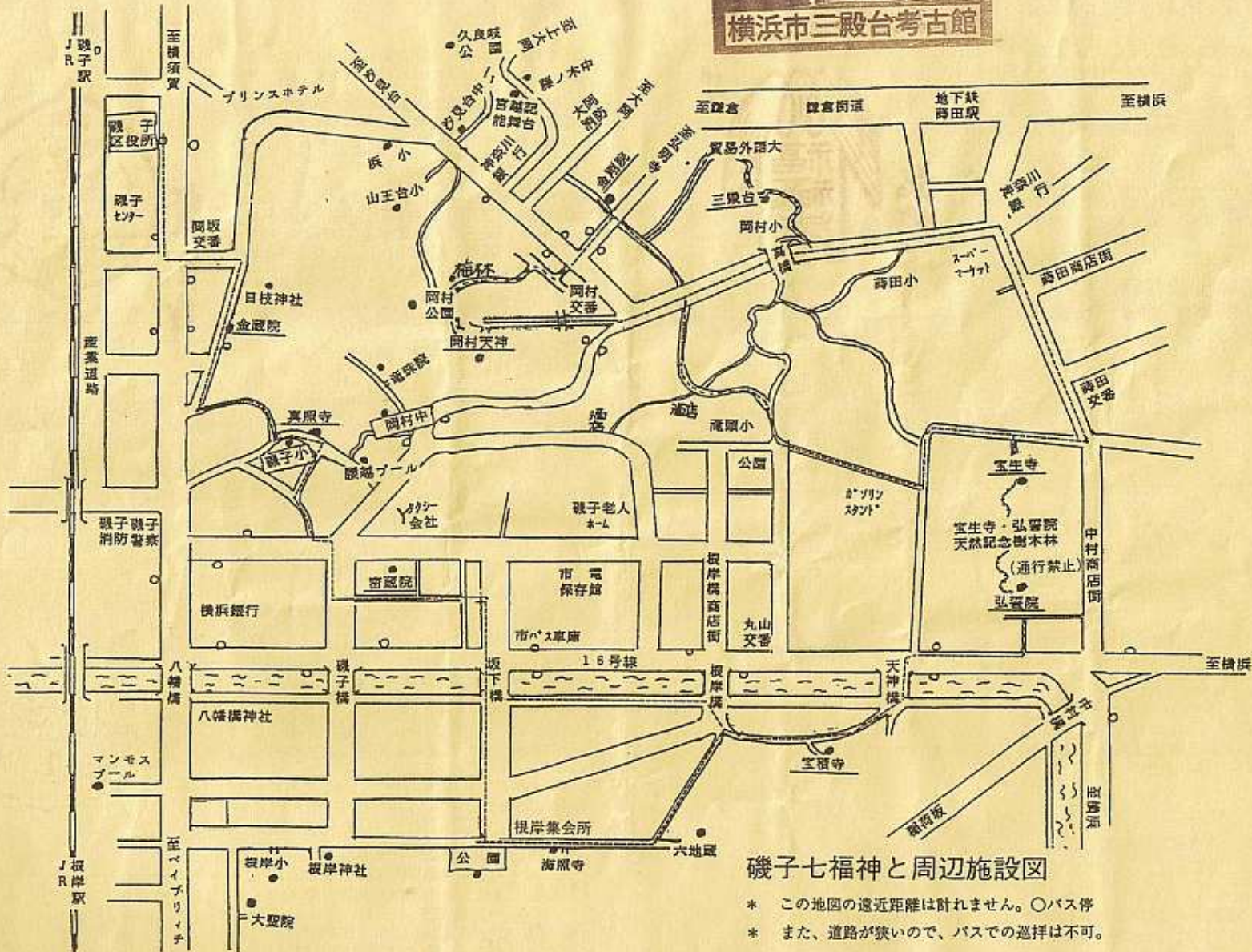
**大黒天**は、怒怒の相から武人の神、また食物を司る神といわれ、日本にわたり大国主命と合体し大黒様といわれ、その円福にあやかり、家内安全・勉強の神、米俵にのっているの、山の幸の神、小楯をよりあげているので、財宝の神とされ、商売繁盛の神様として、江戸時代より、恵比寿様と共に、海の幸、山の幸、金銀の財をなすように一対で、神徳に祭られている。



文責 渡部近司

発行 磯子区青少年指導員協議会

# 横浜市三殿台考古館



磯子七福神と周辺施設図

- \* この地図の遠近距離は計れません。○バス停
- \* また、道路が狭いので、バスでの巡拝は不可。

海向山 岩松寺 金蔵院 こんぞういん

※ 横浜市磯子区磯子町 4-3-6. TEL752-1741.  
 ※ 市バス・60 系統「宮の下」2 分・68・81・110-113 系統「間坂」5 分。

高野山真言宗、縁起によると岡村町（1 丁目）の薬師畑に鎌倉三代執権北条泰時が、京の明恵上人からいただいた薬師尊像を安置し、靈雲山竜錫寺と号したが、火災で焼失し、1328 年（嘉暦 3 年）に、今の地に金蔵院として中興したのは、真言僧理空上人である。現在の本堂は、1964 年（昭和 39 年）完成。また、観音堂の如意輪観世音菩薩像は、北条泰時公内室の念持物で、発心比丘宗因が安置。現在のお堂は、1974 年（昭和 49 年）に妙義山妙義神社御本地堂（約 200 年前の建造）を移築完成したものである。

本尊 薬師如来。

建物 本堂・観音堂・山門・庫裡・茶室「海向庵」。

七福神 弁財天。

年中行事 1 月元日本尊薬師如来護摩祈禱修行・2 月節分大護摩大法要・4 月 8 日釈尊降誕会・毎月 19 日如意輪観世音御縁日護摩修行。



竜頭山 明王寺 密蔵院 みつぞういん

※ 横浜市磯子区竜頭 3-13-5. TEL751-0968.  
 ※ 市バス・68・81・110-113 系統「磯子橋」下車 5 分。

高野山真言宗、開山不詳なるも 1597 年（慶長 2 年）や慶長 4 年の墓石、同 5 年の印塔があり、その頃が開山と考えられる。中興開山は 1652 年（慶安 5 年）入寂の阿闍梨長慶が、堂宇を整備し、寺門興隆をとげた。1745 年（延享 2 年）根岸領書上によると、子の権現、貴船大明神、山王と八幡社など 10 社の別当職を、1766 年（明和 3 年）八幡川のほとりの八幡宮も密蔵院持ちになったが、明治初年の神仏分離で解除、1923 年（大正 12 年）関東大震災で本堂・庫裡倒壊。現本堂・庫裡は 1980 年（昭和 55 年）に落慶。その期に山号を「竜頭山」から「竜頭山」と改める。



本尊 不動明王。

建物 本堂・庫裡・客殿。

七福神 布袋。

禪馬山 密蔵院 真照寺 しんしょうじ

※ 横浜市磯子区磯子 8-14-12. TEL753-5147.  
 ※ 市バス・9-68・81・110-113 系統「浜」下車 6 分。

高野山真言宗、開山開基は明らかではないが、鎌倉時代に遡る。山号は禪馬山三郷院または禪馬山密蔵院と称し、古文書によると、1184 年（元暦元年）に当時磯子を支配していた平子平右馬丞が再興したといわれ、平子氏が当山を開基した一族の菩提寺であった。また、毘沙門天は、平子平右馬允の像と伝えられている。1473 年（文明 5 年）僧圓鎮（寶生寺第三世）が造営を加え、郷内禪馬・根岸両村の三分の一の所領を寄進したので、三郷院という名が出たと伝えられる。現在の本堂は、1962 年（昭和 37 年）に落慶したものである。（元暦元年と青永 3 年は同一）

本尊 阿弥陀如来三尊仏。

建物 本堂・客殿・阿弥陀堂・不動堂・和光会館・庫裡。

七福神 毘沙門天。

年中行事 1 月元日毘沙門天祈禱・春秋彼岸会 法要・毎月（とらの日）祈禱。



明王山 不動院 宝積寺 ほうしゃくじ

※ 横浜市磯子上町 7-13. TEL751-4300.  
 ※ 市バス・68・81・110-113 系統「根岸橋」下車 4 分。

高野山古義真言宗、鎌倉時代の創立、1213 年（建保元年）権僧正勝覚阿闍梨が東国巡化の際、大宝積経の名を用いて宝積寺を建立する。また、1558 年（永祿年中）頃、僧頼順が再興したと伝える。1870 年（明治 3 年）、根岸の白滝不動堂を再興し、宝積寺の境外仏堂とした。また、現住職は、子どもたちが、健やかに育つように発願し、千体地藏尊をおまつりし、ガンダーラ文庫や写経・写仏を行っている。

本尊 不動明王。

建物 本堂・庫裡・客殿

七福神 恵比寿。

年中行事 1 月元日祈禱・8 月下旬、地藏盆・12 月第 3 日曜日、納め地藏餅つき会・毎月第 3 土曜日、ガンダーラ寄席。

